

小千谷市  
1人1台端末の利活用に係る計画

令和7年2月6日

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「自ら考え 心豊かに たくましく生きる 小千谷の子ども」を目指す姿とし、ICT教育の重点項目として、情報活用能力の育成、ICTを効果的に活用した学習活動の充実、遠隔教育の推進と家庭学習の充実、特別支援教育におけるICTの活用の4点を掲げ、情報や情報技術を的確に利活用して、高度情報化社会を生き抜く力の育成を行っています。

2. GIGA第1期の総括

本市の市立学校では国のGIGAスクール構想を受け、学習系ネットワーク・無線LAN環境及び児童生徒1人1台端末の整備が進み、令和2年3月までに完了した。今後は、整備したICT環境を活用し、主体的・対話的で深い学びを通して教育の質を向上させ、児童生徒の資質・能力を確実に伸ばしていくことが求められる。当市の教員が授業中にICTを活用して指導する能力は全国平均並みであるものの、学校間や教員間で意識やスキルに差がみられることから、教員のICT活用指導力の更なる向上が必要である。また、校務の更なるデジタル化により業務の効率化や教育データの利活用を進めることや、現在、校務系と学習系でネットワークが分離されていることにより損なわれている利便性を改善することといった環境面の整備で、現場の負担軽減を図り、教員の力を最大限に引き出すことが必要である。

3. 1人1台端末の利活用方策

前項1「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」の実現のため、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持していく。なお、整備・更新した端末は、以下のような利活用を行う。

項目	KPI	現状値⇒目標値	方策
1人1台端末の積極的活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率	全国 : 73.0%(R4) ⇒100%(R6) 小千谷市 : 50%(R4) ⇒100%(R6)	研修のニーズの把握、広報活動の充実
	情報通信技術支援員(ICT支援員)の配置	全国 : 5.7校/人(R3) ⇒4校/人(R7) 小千谷市 : 7校/人(R3) ⇒7校/人(R7)	ICT支援員配置継続のための予算確保
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	全国 : 小90.6%(R5) ⇒100%(R6) 中86.5%(R5) ⇒100%(R6) 小千谷市 : 小50%(R5) ⇒100%(R6) 中40%(R5) ⇒100%(R6)	端末活用事例の共有
	デジタル教科書を実践的に活用している学校	全国 : 40.5%(R4) ⇒100%(R10) 小千谷市 : 100%(R4) ⇒100%(R10)	デジタル教科書の活用事例の共有
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小44.9%(R5) ⇒80%(R8) 中36.1%(R5) ⇒80%(R8) 小千谷市 : 小50%(R5) ⇒80%(R8) 中40%(R5) ⇒80%(R8)	各校の端末稼働状況のモニタリング、端末の活用状況を各校へフィードバック
	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小70.1%(R5) ⇒100%(R8) 中64.9%(R5) ⇒100%(R8) 小千谷市 : 小50%(R5) ⇒100%(R8) 中40%(R5) ⇒100%(R8)	
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校	全国 : 小46.0%(R5) ⇒80%(R8) 中44.4%(R5) ⇒80%(R8) 小千谷市 : 小50%(R5) ⇒80%(R8) 中40%(R5) ⇒80%(R8)	
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校	全国 : 今後把握⇒100%(R8) 小千谷市 : 今後把握⇒100%(R8)	第1期整備端末の有効活用及び第2期整備予備機の活用
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校	全国 : 今後把握⇒100%(R8) 小千谷市 : 今後把握⇒100%(R8)	
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校	全国 : 今後把握⇒100%(R8) 小千谷市 : 今後把握⇒100%(R8)	